

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	66-1800
事業コード		事務事業名	食品検査強化事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象(受益者)	小中学校・保育園の児童、生徒のために
手段	給食食材の定期的な検査(農薬・細菌類)を実施することにより
想定する成果	安全で安心な学校給食の提供につながる。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
検査項目	細菌数/大腸菌群/O-157/残留農薬	細菌数/大腸菌群/O-157/残留農薬	細菌数/大腸菌群/O-157/残留農薬
検査点数	3点	5点	10点
検査手数料	102,300円	108,990円	212,000円

④成果指標

成果指標名	① 食品検査結果状況(平成16年)						② 食品検査結果状況(平成17年)					
	細菌数	大腸菌群	0-157	黄色ぶどう球菌	残留農薬(4成分)	細菌数	大腸菌群	0-157	酸価	残留農薬(4成分)		
成果指標の説明	ミモザ ^{サラダ}	300以下	陰性	陰性	陰性	ミトマト(2点)	300以下	陰性				
	ミトマト	7.2×10^3	陰性	陰性		豆腐	4.1×10^3	陰性	陰性			
	キウイフルーツ	4.4×10^2	陰性	陰性		油揚げ	300以下	陰性	陰性	1.0		
						いちご	9.2×10^3	陰性	陰性			
										検出せず		

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画			
	実績			
成果指標②	計画			
	実績			
事業費	事業費	102	109	212
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,709	1,718	1,803
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,709	1,718	1,803

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	毎年予算の範囲内で実施している。
経済効率性	3	3	少額の予算で製造業者及び納入業者の信頼性を確認していくことができ効果がある。
事務効率性	1	1	県給食会へ依頼する場合、検査場所(豊明市)へ直接届けなければならず事務ロスがでる。
必要性	3	3	食材の安全確認は、必要不可欠なものである。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	検査点数は少ないが、納入業者による自主検査が主体であり、これを補完するために、本事案を抜き打ち的に実施している。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> ・食材の検査にあたっては、保健所及び県学校給食会で行っているが、廉価な方で実施している。 ・給食用物資を使用するにあたっては、事前に自主検査票（一般細菌数、大腸菌群）を提出させているが、確認のため使用する食品について、公共機関での検査をして安全を再確認している。 ・調理員に衛生管理指導のための資料にしている。 	

⑧今後改善すべき点

果物など給食センターで直接加熱なしに給食としてだすものを中心に検査してきたが、野菜や液卵、肉製品なども検査対象としていく。

⑨平成19年度予算に反映する項目

・給食の安全性を確保する観点から、食材の検査回数及び検査点数を大幅に増やす検討が必要。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	66-1800
事業コード		事務事業名	給食配送事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象(受益者)	小中学校・保育園の児童、生徒のために
手 段	学校給食の配送・回収を適切に実施することにより
想定する成果	安全かつ適時・適温の給食の提供を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
給食配送委託台数	9台(うち2台は7ヵ月、3台は11ヵ月)	9台(うち5台は11ヵ月)	9台(うち5台は11ヵ月)
給食配送委託料	51,889,500円	56,978,250円	57,000,000円
1台単価	6,554,460円	6,638,244円	6,640,776円

④成果指標

成果指標名	①	②
委託効果(率)		—
成果指標の説明	1台単価/市職員1人当たりの年間人件費	—

⑤事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	91.1%
	実績	88.7%	89.4%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	51,890	56,978	57,000
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	53,497	58,587	58,591
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	53,497	58,587	58,591

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	当市が給食センター方式を採用した時より、配送業務は委託となっている。
経済効率性	2	2	車両費人件費及び諸経費込みの1台単価からすれば直営よりも経費の節減となっているが、同一業者であり、委託料も高くなっている。
事務効率性	2	2	配送業務自体は委託されているので、年度途中の業務は運営管理と委託料の支払いなどの限られている。
必要性	3	3	調理員の欠員分のパート化とともに、配送業務は民間委託業務の先を行くものであり、今後も継続するもの。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	行政事務（業務）の民間委託が叫ばれる昨今、30数年前に時代の先取的な存在となっている委託業務であり、引き続き契約内容を検討しながら、継続されるべき事務である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成16年9月の新センター開設以来、学校休業中の8月（保育園給食の配送・回収は実施）は、9台契約せず保育園分の4台契約している。	

⑧今後改善すべき点

20校ある小中学校の給食時間が、12時25分から12時40分に集中しており、また、1センターに統合されたこともあり、配送経路を工夫しているが、道路事情によっては、現在の9台体制では学校着に遅れが出ており、1台増の検討を要する。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	66-1800
事業コード		事務事業名	学校給食会委託事業（物資・補助調理員）	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象（受益者）	小中学校・保育園の児童、生徒のために
手 段	物資の調達と補助調理員の採用・管理について、学校給食会に委託することにより、
想定する成果	安全で安心かつ効率的な学校給食の実現を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
給食会採用パート人数	80人	76人	75人
給食会採用パート人件費	43,374,196円	44,326,757円	47,949,000円
年間物資購入費	327,502,663円	338,559,736円	370,382,000円
年間総食数	1,632,301食	1,700,329食	1,842,750食

④成果指標

成果指標名	①	②
	月額パート人件費（1人当たり）	1食当りの食材購入費（保育園含む）
成果指標の説明	パート人件費／パート人員	年間物資購入費／年間総食数

⑤事業の進捗状況

（ 一 般 会 計 ）

（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画			53,277円
	実績	45,181円	48,604円	
成果指標 ②	計画			201円
	実績	201円	199円	
事業費	事業費	70,050	65,973	75,028
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	71,657	67,582	76,619
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	71,657	67,582	76,619

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	他市の中には給食会を持たずに市職員が発注、支払業務をしているところもあるが、当市給食会は目的を達している。
経済効率性	1	1	給食会事務職員の処遇及びパートの時間賃金に一考の余地あり。
事務効率性	2	2	午前中は調理作業、午後は洗浄作業と分けて雇用している。
必要性	3	3	パート雇用は部分的であれ民間委託と考えられる。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	近い将来の給食業務の運営民営化の際、10割の民間業者への委託のほか、学校給食会の運営で、現調理員の受け皿も考えられるため、現給食会事務職員の処遇も含め、組織の法人化も考慮にいれ、基盤強化が望まれる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・平成16年9月から新センター1箇所になったため、パート人員を削減した。	2,169千円
・16年度よりパートの夏・冬のボーナス支給を廃止し、時間給に組み込んだ。（年収比、手取り減）	1,169千円
・事務局長を16年度より、嘱託職員とした。	5,682千円

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・パートの採用初日から、先輩パートと同じ時間給を受け取れるが、3ヶ月間は△50円の見習い期間があってもよいと思われる。 ・物資の発注業務、パートの管理事務も機械化（パソコン化）された面も多く、給食会の職員も、嘱託化でよいのではないか。 ・ドライシステム導入による衛生管理の徹底で、パート1人あたりの作業時間が増加する傾向にある。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】